

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
TEL : 048-662-6636
- インフォメーションセンター西日本分室
TEL : 06-6386-2236
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX : 048-662-6676
- アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (S-564)
68P70033Y59-O



Alpine F^{#1} StatusTM



このたびは、お買上げいただきまして、まことにありがとうございます。
● お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
● お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
● 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



取扱説明書

D/A CONVERTER

DAI-C990

IONBUS™

安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC 12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしないでください。事故・ケガの原因になります。操作をする場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



安全にお使いいただくために

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。
事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ
店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因
になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

目次

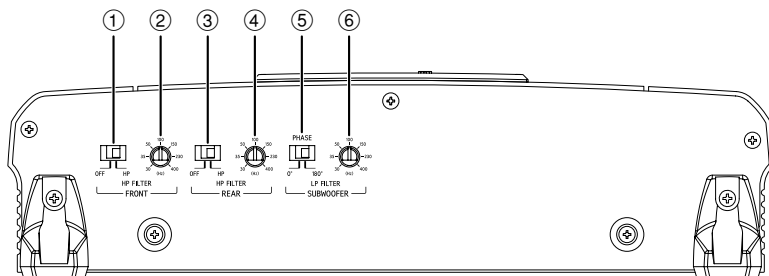
安全にお使いいただくために	2
目次	5
各部の名称	6

取り付けと接続

1. はじめに	8
2. 外す	9
3. 接続する	9
4. 取り付ける	11
5. 確認する	12
6. システムアップの例	14
補足説明	15

その他

故障かな？と思ったら	16
規格	17
保証について	18
お問い合わせ窓口	19



① クロスオーバー・モード切りかえスイッチ（フロントHPF）



フロントスピーカーのHPFクロスオーバー周波数を設定する場合は、HP側に設定します。中高域出力となります。
フロントスピーカーをフルレンジスピーカーとして使用する場合は、OFF側に設定します。全帯域出力となります。

② クロスオーバー周波数調整ツマミ（フロントHPF）



クロスオーバー・モード切りかえスイッチ（フロントHPF）をHP側に設定したときに使用します。クロスオーバー周波数を30～400Hzの間で調整することができます。通常は50Hzを目安に合わせ、あとはお好みにより調整してください。

③ クロスオーバー・モード切りかえスイッチ（リアHPF）



リアスピーカーのHPFクロスオーバー周波数を設定する場合は、HP側に設定します。中高域出力となります。
リアスピーカーをフルレンジスピーカーとして使用する場合は、OFF側に設定します。全帯域出力となります。

④ クロスオーバー周波数調整ツマミ（リアHPF）



クロスオーバー・モード切りかえスイッチ（リアHPF）をHP側に設定したときに使用します。クロスオーバー周波数を30～400Hzの間で調整することができます。通常は50Hzを目安に合わせ、あとはお好みにより調整してください。

⑤ 位相切りかえスイッチ（サブウーハー）

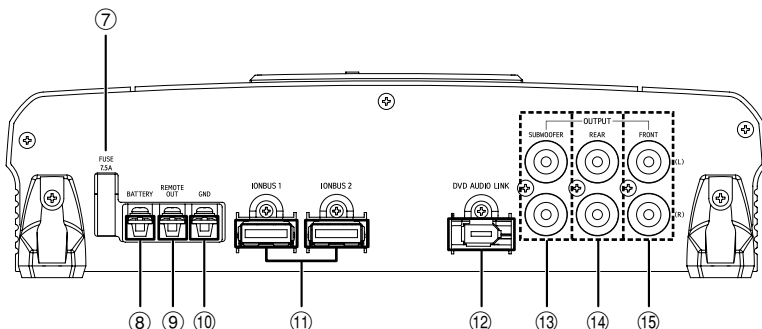


サブウーハーの位相を切りかえます。運転席に座った状態で0°（正相）と180°（逆相）を切りかえてみて、良い方（目安としては、より低音の出る方）を選びます。スピーカーの取付位置、車の形状によっては180°（逆相）の方が、良好な場合もあります。

⑥ クロスオーバー周波数調整ツマミ（サブウーハーLPF）



サブウーハーのクロスオーバー周波数を30～400Hzの間で調整することができます。通常は100Hzを目安に合わせ、あとはお好みにより調整してください。



⑦ ヒューズ (7.5A)

⑧ バッテリー端子

エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。

⑨ リモートアウト端子

アンプなどの周辺機器に接続します。

⑩ アース端子

アースコードで車体の金属部分へしっかりと固定します。

⑪ IONBUS端子

IONBUS対応製品とシステムアップするときに使用します。

⑫ DVD Audio Link端子

DVDオーディオ再生用の端子です。

⑬ サブウーハー出力端子 (PIN出力)

サブウーハーを駆動する信号を出力します。

⑭ リアスピーカー出力端子 (PIN出力)

リアスピーカーを駆動する信号を出力します。

⑮ フロントスピーカー出力端子 (PIN出力)

フロントスピーカーを駆動する信号を出力します。



Memo

- DVD Audio Linkコード、IONBUSコードを接続するときは、DVD Audio Link端子、IONBUS端子のカバーを外して使用してください。DVD Audio Link端子、IONBUS端子を使用しないときは、カバーをつけたままにしてください。
- 本機はマルチチャンネル再生非対応です。DVDビデオ/DVDオーディオなどでステレオ (2ch) 音声を含むソースではステレオ (2ch) 音声を選択し再生してください。
- DVDビデオ/DVDオーディオなどで、マルチチャンネル音声を持ったディスクを再生しても、リア/サブウーハーは、フロント音声と同じ (サブウーハーはLP) 音声が出力されます。
- 本機のサブウーハー出力はステレオ固定です。サブウーハーを単発で鳴らす際はL/R音声をミックスできる外部アンプを使用してください。

取り付けと接続

1. はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

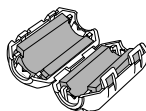
1. 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

IONBUSコード (6m) DVD Audio Linkコード (6m) 取付ネジ (M4×14)



×4

フェライト・コア



×2

2. 車を安全で平坦な場所に停める。

パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜きます。



本機の接続には別売のバッテリー電源コード、アースコード、リモートアウトコードが必要です。

2. 外す

1 バッテリーマイナス端子を外す。

重要

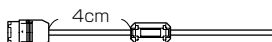
補 足 P16の補足説明もご覧ください。

3. 接続する…接続するごとに (13～14ページ) に✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避けるために、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。(13～14ページ)
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
・ RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 添付のフェライト・コアを、IONBUSコード両端の、取付の際に製品にコアが当たらない位置にセットしてください。(本機に接続する場合は、端子根元部分から約4cmの位置)



3 13～14ページの「基本接続図」「システムアップの例」を参照して接続する。

⚠注意

説明書に従って正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

4 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻く。

- アース線以外はボディー（アース）にショートしないようにしてください。

取り付けと接続

3. 接続する（つづき）

- 5** 正しく接続されているか確認する。
✓ 点がもれているところはないか。

-
- 6** バッテリーマイナス端子を接続し、イグニッションキーをONにして動作を確認する。
ヘッドユニットの電源を入れ本機の電源が入るか（正しく音が出るか）。
※システムを組んだ状態で確認してください。

-
- 7** 確認が終わったらヘッドユニットの電源を切る。

-
- 8** イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

補 足 P16の補足説明もご覧ください。

4. 取り付ける

1 取り付け場所を設定する。

- トランクルームなどが最適です。

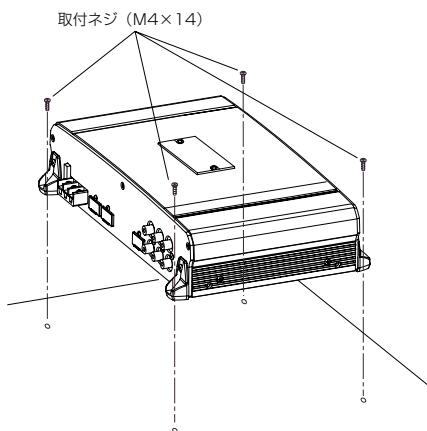
2 取り付け場所の取り付けネジ位置に印をつける。

3 ドリルで3mm径以下の穴を開ける。



警告 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

4 付属の取付ネジ (M4×14) 4本で本機をしっかりと取り付ける。



5. 確認する

1 コード類を固定する。

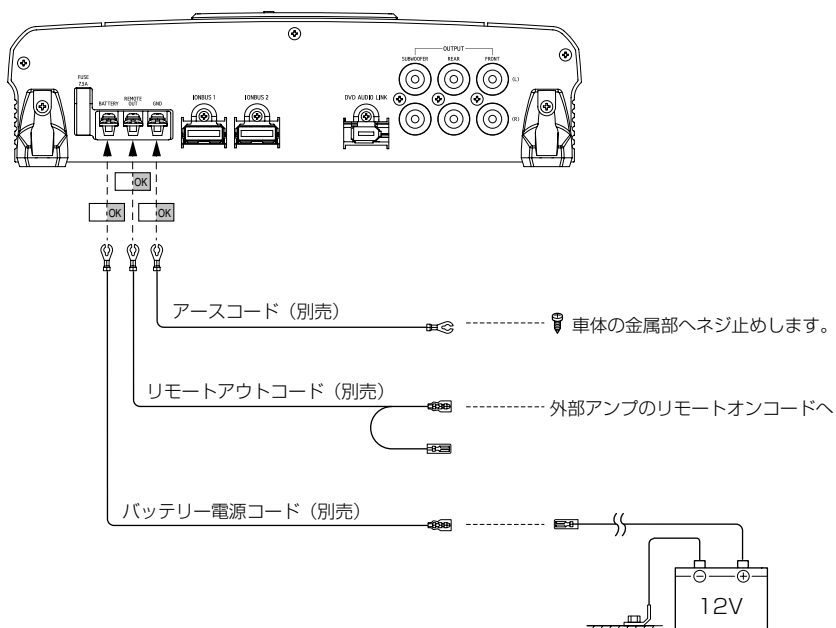
- シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定します。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

3 イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

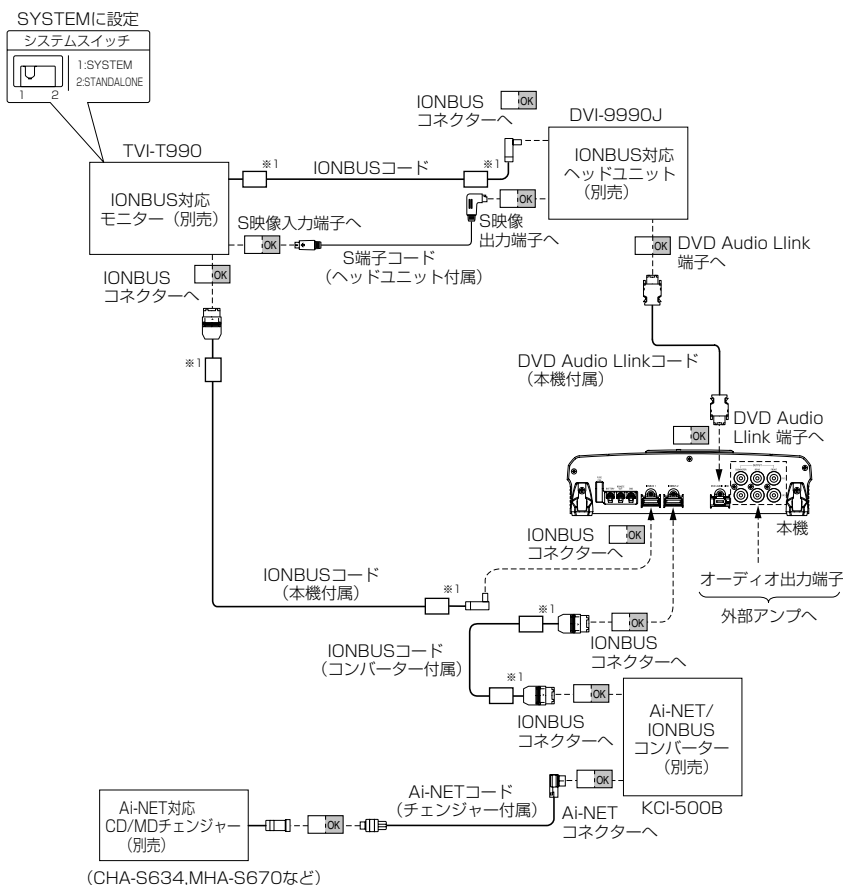
4 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

基本接続図



6. システムアップの例

● 本機+ヘッドユニットDVI-9990J+モニターTVI-T990+Ai-NET対応チェンジャーの接続



※1 フェライト・コア (「3. 接続する」9ページ参照)。フェライト・コアは、DAI-C990、TVI-T990、KCI-500Bに同じものが2ヶずつ添付されています。

- IONBUS対応製品は、どのような順番でも接続できます。上記接続順は一例です。
- Ai-NET対応チェンジャーを接続しない場合は、KCI-500Bを接続する必要はありません。
- 別売マルチメディアマネージャー (PXI-H990) と接続して使用することはできません。
- 本機とヘッドユニット (DVI-9990J) のみを組み合わせる場合は、IONBUSコードをヘッドユニット側へ接続します。
- 本機は、ヘッドユニット (DVI-9990J) と組み合わせた場合に動作致します。(Ai-Net対応ヘッドユニットと組み合わせても動作致しません。)
- 詳しい接続に関しては、組み合わせる製品の説明書を参照してください。

● 補足説明		このページにはP8～P14についての補足説明が記載されています。ご参照下さい。	
タイトル	説 明	関連ページ	
2. 外す	● コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。	P9	
	● 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。	P9	
3. 接続する	● 車両雑音から守るために ・ アースコードを車体の金属部分に確実につなぎます。 ・ 本機や本機からのコードを車両配線から離します。 ・ バッテリー電源コードとPINコードは離します。 ・ ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離します。 ・ アースを取る場所によって、雑音が大きくなる場合があります。そのようなときは、アースを取るポイントを変えてみると解決する場合があります。	P9	

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

接続・配線は正しく行われていますか？

下の表をもう一度ご確認ください。

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P19）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、ヘッドユニット側の電源を一度OFF/ONしてください。それでも正常に動作しない場合は、下表を参照して処置を行ってください。

動作しない。

ヘッドユニット側のディスプレイに何も表示されない。

- 車のイグニッションキーがOFFになっている。
 - ・ 車のイグニッションキーをONにする。
- 本機の電源が入っていない。
 - ・ 車のイグニッションキーをONにし、ヘッドユニット側の電源を入れる。
- 電源コードの接続が不完全。
 - ・ 電源コードの接続を完全に行う。
- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。

ヘッドユニットに「System Error」が表示される。

- 接続が不完全である。
 - ・ 本機のバッテリー電源コード、アースコードの接続を確認する。
 - ・ IONBUS コードの接続を確認する。
- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。

電源は入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ ヘッドユニット側で音量レベルを上げる。

スピーカーから音が出ていない。

- コードの接続が不完全。
 - ・ コードの接続を完全に行う。
 - ・ 外部アンプとの接続（リモートアウトコード、RCAコード）を確認する。

規格

周波数特性 (DVD-AUDIO) :

20Hz~20kHz (20Hz~96kHz)
(フロント/リアチャンネルHPF
OFF時)

SN比:

110dB (IHF-A)

チャンネルセパレーション:

90dB

**フロント/リア (HPF ON時)、サブウー
ハークロスオーバー:**

30~400Hz (ANALOG-VR)
スロープ 12dB/OCT. 固定

定格出力:

4V (負荷10kΩ時)

出力インピーダンス:

1kΩ以下

外形寸法:

260 (幅) × 67 (高さ) × 160 (奥行) mm

重量:

2.1kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

● 調子が悪いとき

まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

● それでも調子が悪いとき

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または19ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

● 補修性能部品

製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または19ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成16年7月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

インフォメーションセンター西日本分室

・電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX : 048-662-6676

・TEL : 048-662-6636

・TEL : 06-6386-2236

・電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30 ~ 17:30

営業所・販社名	電話番号	住 所	担当都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス	022-239-5331	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号	宮城県/山形県/秋田県
郡山オフィス	024-925-3811	〒963-8051 福島県郡山市富久山町18丁目字土布池11番5号	福島県
盛岡オフィス	019-664-1210	〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	青森県/岩手県
北関東エリア 埼玉オフィス	048-664-7701	〒331-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町3丁目179番	埼玉県
高崎オフィス	027-361-5813	〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16番6	群馬県
松本オフィス	0263-48-4772	〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号	長野県/山梨県
宇都宮オフィス	028-610-6890	〒321-0942 栃木県宇都宮市峰2-28-12	栃木県
新潟オフィス	025-257-9890	〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	新潟県
東関東エリア 東京東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区/千代田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区/千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区以外
南関東エリア 東京オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市中区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都(千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区以外)
神奈川オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市中区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	神奈川県/静岡県(大井川以西)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子3丁目108	愛知県/三重県/岐阜県/静岡県(大井川以西)
北陸オフィス	076-240-8111	〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	石川県/富山県/福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府/奈良県/和歌山県
中国圏エリア 岡山オフィス	086-243-8257	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号	岡山県/鳥取県/島根県
広島オフィス	082-946-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号	広島県/山口県
高松オフィス	087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	徳島県/香川県/愛媛県
九州エリア 福岡オフィス	092-452-9870	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号 ヒロタビル7号	福岡県/大分県/佐賀県/熊本県
長崎オフィス	095-727-1581	〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	長崎県
鹿児島オフィス	099-218-8321	〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下伊敷1丁目3番25号 ティアラハイツ102	鹿児島県/宮崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府/滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
アルパイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)パリス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安貿217番地3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/広島県/鳥取県/徳島県/香川県/愛媛県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/鹿児島県/宮崎県/沖縄県

その他

